



Kobe University Repository : Kernel

タイトル Title	最近の文獻
著者 Author(s)	
掲載誌・巻号・ページ Citation	国民経済雑誌,77(3):145-148
刊行日 Issue date	1944-09
資源タイプ Resource Type	Departmental Bulletin Paper / 紀要論文
版区分 Resource Version	publisher
権利 Rights	
DOI	
URL	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81001931

Create Date: 2017-12-18



最近の文獻

(自昭和十九年七月中旬
至昭和十九年八月中旬)

本欄は本邦に於ける近刊の經濟及法律に關する著書・報告書・雜誌其他の公刊物中の主なる項目を彙集したるものなり。目錄中上部に○印あるは單行の著書なり。

本欄に引用する雜誌の名稱、發行回数、定價及發行所は第七十六卷第一號にあり。

一 總目

辭典・一般年鑑・一般的統計を含む

○經濟建設と國防(Ⅰ) (郷男爵記念會論文集第一卷) 昭和十九

A五判四二九頁 賣價五、七〇 有斐閣

(内容―世界新秩序と日本經濟の將來―小島清・大東亞經濟建設論―増井武)

○經濟建設と國防(Ⅱ) (郷男爵記念會論文集第二卷) 昭和十九

A五判四一一頁 賣價五、七〇 有斐閣

(内容―最近に於ける我國經濟の變革と其將來―佐藤七郎・我國の國防經濟體制―大石泰彦)

○統制經濟論 昭和十九 A五判三三五頁 賣價五、〇〇

日本評論社

○統制經濟の秩序 昭和十九 A五判四六四頁 賣價六、五〇

有斐閣

○ジェボンズ經濟學の理論 昭和十九 A五判三九四頁

賣價七、五〇

日本評論社 小泉信三・寺尾琢磨・永田清共譯

○第三統制經濟論 昭和十九 A五判二二三頁 賣價四、二〇

産業圖書株式會社

高橋次郎著

二 經濟理論・經濟學說史

○日本戰時經濟の諸問題 昭和十九 A五判三三二頁
賣價四、八五 千倉書房

經濟變動理論に於ける經過の問題(經濟論叢六ノ四)……………原祐三著

價格と所有(經濟論叢六ノ四)……………青山秀夫

厚生經濟學の基礎問題―財政學への出立―(經濟論叢六ノ四)……………高田保馬

經濟の向ふところ(中央公論五ノ七)……………木下和夫

段階理論と體制理論―體制概念の經濟社會學的基礎づけ―……………高田保馬

(一橋論叢三ノ六)……………高島善哉

職力増強と經濟體制問題(經濟學雜誌二四ノ六)……………竹島富三郎

利潤の國家性と非國家性(日本評論一五ノ七)……………高橋龜吉

統制下の金利(一橋論叢三ノ六)……………中山伊知郎

三 經濟哲學・社會思想・社會學・統計學

○給料生活者及勞働者戰時下家計調査結果表拔萃(昭和十六年十月分) 昭和十九 B五判一一一頁 非賣品 内閣統計局

同局編

最近時に於ける我統計學界の展望(決戦下の社會諸科學)……………高野岩三郎

四 經濟史・社會史・法制史

- 封建英國とその崩壊過程 昭和十九 A 五判三〇三頁 小松芳喬著
- 世界經濟史研究 昭和十九 A 五判四〇九頁 寶價五、五〇 弘文堂 寶價六、二〇 金子愷之助著
- 民法典論爭史 昭和十九 B 六判二六二頁 定價二、五〇 星野 通著
- 日本評論社 古典の探究と重商主義についての新解釋(決戦下の社會諸科) 大内 兵衛 穗積 文雄
- 支那貨幣小史(東亞經濟叢書ノ一四)

五 經濟政策・經濟統制

- 工業配置論 昭和十九 A 五判四四五頁 定價一、九〇 平 實著
- 千倉書房 戰時生産經營論(科學主義工業ノ七) 空襲下のドイツ軍需生産對策(同盟世界週報五ノ二六)…… 池上 幹徳
- 日本統制經濟に於ける機動性(日本經濟ノ三) 深見 義一

六 財 政

- 新戰時財政講話 昭和十九 B 六判二一五頁 寶價二、一四 巖松堂書店 井藤半彌著
- 戰費の研究 第三卷 昭和十九 A 五判一六〇頁 非賣品 同 會 編
- 國防經濟協會 地方廣域圏内の財政調整(財政九ノ七) 藤田 武夫
- 支那經濟建設運動と財政(財政九ノ七) 柏井 象雄
- 決戦下の増稅法案に就いて(日本經濟一ノ二) 松隈 秀雄

七 勞働・厚生

- 第八十一議會勤勞政策に關する論議と其の成果 昭和十八

八 經營・企業・公共企業・協同組合

- A 五判一〇四頁 非賣品 協同會 同 會 編
- 勞働化新體制と集團構成(都市問題二ノ六) 松本潤一郎
- 生産能率と勞務管理(科學主義工業ノ七) 相澤 次郎
- 戰力増強と女子勤勞(社會政策時報二ノ二) 美濃口時次郎
- 女子勤勞動員の問題(都市問題二ノ六) 河野 密
- 半島人勞務者の素質—心理學的検査の結果—(大陸東洋經濟一ノ二) 天野 利武
- 日本的給與制度(日本經濟一ノ六) 安藤 政吉
- 國民生活の安定(日本經濟一ノ五) 猪谷 善一
- 國民厚生基金制度私案要綱(國策研究會週報六ノ三三) 矢次 一夫

九 簿記・會計・商業數學

- 營業整備勞務問題に關する官民懇談會(第一回) 昭和十九 同 會 編
- A 五判四六頁 非賣品 日本經濟聯盟會 高宮 晋
- 企業問題の視點(日本評論九ノ七) 靜田 均
- コンツェルンと持株會社(經濟論叢書ノ四)
- 會計學方論 昭和十九 A 五判二五二頁 寶價三、八七 巖松堂書店 レオン・ゴンベルグ著 伊藤正一譯

一〇 農業・畜産業・水産業・林業

- 戰力増強と農村問題 昭和十九 A 六判三二四頁 助川啓四郎著
- 北支の農村經濟社會 昭和十九 A 五判四五八頁 柏 祐賢著
- 共榮岡農業再編成の問題—農産物の計畫的調達に關する一

考察—(國際經濟研究五ノ七)

東亞農業團の成立(揚子江七ノ六)

農業増産と新技術(日本經濟一ノ五)

中支那農業構造論(其の一)——下江蘇省句容縣の農業構造について(東亞研究六)

フイリピン農民の經濟意識(國際經濟研究五ノ七)

一 一 鑛業・工業

滿洲に於ける國防的重工業確立の要請とその基盤(經濟論叢 石田 興平)

中國の地下資源(上)(東亞研究六)

一 二 商業・配給

買辦に關する覺書(東亞經濟論叢三ノ三)

生産増強と配給問題(日本經濟一ノ六)

綜合配給制度序論(經濟學雜誌四ノ六)

青果物の配給機構(村と農政六ノ六)

決戦生活と末端配給(日本經濟一ノ五)

一 三 貿易

大東亞交易の概念(國際經濟研究五ノ七)

大東亞共榮圈通商史——マライの卷——(共榮經濟一ノ七)

一 五 貨幣・銀行・金融

支那銀行業務の類型(東亞經濟論叢三ノ三)

交戰國の貯蓄政策(上)(同盟世界週報五ノ二九)

中小商工業者企業整備資金の支出及使途狀況(上)(全國金融統計會報四ノ六)

一 六 國際金融・外國爲替

外國爲替管理法施行規則の改正について(財政九ノ七)

川野 重任

東畑 靖一

小野 武夫

三好 四郎

鈴木 忠和

石田 興平

尾崎金右衛門

鈴木總一郎

上林 正矩

竹林庄太郎

小川 保男

柳川 昇

松井 榮一

岡崎 虎一

徳永 清行

今井 一男

安田銀行調査課

一 七 物價・景氣

主要食糧價格對策の變遷(社會政策時報六)

一 八 交通・倉庫

アメリカ海運政策の政治性——アメリカ海運政策史序説——(海運二ノ六)

ハイソック・ヘックホッフ「對外經濟政策に於ける海運」(九三(年)(經濟論叢五ノ四)

一 九 保 險

社會保險と保險技術(經濟學雜誌一四ノ六)

關東州在住滿人に對する生保經營上の問題(生命保險經營六ノ二)

比島の生命保險と社會事情(生命保險經營六ノ二)

支那の生命保險問題(生命保險經營六ノ二)

○シャン民俗誌 昭和十九 A五判三三九頁 實價七、五〇

二 〇 人口・民族・移植民

大東亞民族の分布と其文化(亞細亞研究三ノ三)

南方圈における原住民族の衰因(亞細亞研究三ノ三)

生活社 牧野 巽・佐藤利子譯

松本 信廣

戸鞠 雅彦

二 一 東亞經濟・世界經濟

東亞指導國の二重性(東亞經濟論叢三ノ三)

共榮圈建設の方途(外交評論四ノ七)

日本の重工業化と東亞の工業化——その序説的考察——(亞細亞研究三ノ三)

谷口 吉彦

酒枝 義族

伊東 岱吉

二 二 經濟地理・各國經濟事情

東條 猛務

田邊 勝正

佐波 宣平

佐波 宣平

近藤 文二

生命保險經營六

青谷 和夫

平本 義則

山中 宏

廣價七、五〇

伊藤 雅彦

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

伊藤 岱吉

○ジャワ社會の研究 昭和十九 寶價二、九五 圖書研究社
B六判二八三頁 松浦 靖著

○東印度經濟の研究 昭和十九 寶價一〇〇〇、 育生社弘道閣
A五判五七二頁 野村海外事業部編
定價一〇〇〇、 昭和十九 A五判五六一頁 非賣品
英國戰時經濟概観 昭和十九 同局 編
大藏省總務局

○英國軍需産業動員 昭和十九 A五判七八頁 非賣品 同會 編
國防經濟協會
臺灣と東印度(新領土(植民地)に於ける本國人の數に關する一考案(東亞經濟論叢三ノ三、四) 目崎 憲司

二三 政治・行政

官吏の默秘義務に關する二三の考察(法學論叢著ノ三)……渡邊宗太郎
產業行政の行政學的考察(法律時報六ノ六) 蠟山 政道

二四 外交・國際政治

戰爭の本質より見たる第二次歐洲大戰と大東亞戰爭の意義及び特質(亞細亞研究三ノ二) 米山 桂三

二五 法・法學・法哲學

○新秩序建設と日本法理(日本法理叢書別冊六) 昭和十九 B六判一二四頁 寶價五二 日本法理研究會 同内 敏彦 編
公・私法關係結合の一態様(民商法雜誌九ノ五) 末川 博
權利と法規との關係(民商法雜誌九ノ五) 牧野 英一
違法問題の法律的・經濟的及び社會的意義(法律時報二六ノ七) 八木 胖
經濟統制事犯に於ける法と道德——「適法精神」の現時的意義 (法律時報二六ノ七)

二六 憲法・國法学

憲法の憲法(一)(法學二ノ六) 清宮 四郎

天皇御治法的精神(中央公論九ノ七) 大串鬼代夫

二八 社會法・經濟法

大東亞經濟建設と經濟法(亞細亞研究三ノ二) 峯村 光郎
農業團體法と自治制度(法律時報六ノ六) 小平 權一

二九 民事法

○滿洲家族制度慣習調査第一卷 昭和十九 A五判八六八頁 寶價十八、〇〇 有斐閣 滿洲國司法部著
共益權の本質——松田博士の所説に對する一批判——(法學協會雜誌三ノ三) 鈴木 竹雄

三〇 商事法

○軍需會社法解説 昭和十九 B六判三五〇頁 寶價三、〇〇 東邦社 重要産業協議會編

三一 民事手續法・破産法・和議法

○調停の研究 昭和十九 B六判一五四頁 寶價二、〇二 日光書院 小川保男著
○改訂時司法特例法要義 昭和十九 B六判三三八頁 定價三、八〇 法文社 梶田 年著

三二 刑法・刑事手續法・刑事政策

ドイツに於ける空襲と犯罪對策(法律時報二六ノ七) 奥山 勇治

三三 國際公法・國際私法

○戰時國際法論 昭和十九 A五判七五一頁 寶價一二、〇〇 日本評論社 立 作太郎著
大東亞國際法名稱考(亞細亞研究三ノ二) 前原 光雄
條約改正(國家學會雜誌六ノ三) 神川 彦松
グロチウス「戰爭と平和の法」の再吟味(一)(國際法外交雜誌四ノ七) 一又 正雄